



朝風

平成28年11月25日

平成28・29年度 国立教育政策研究所指定 教育課程研究指定校事業 (ESD) 中間公開授業研究会を終えて

本校は、今年度と来年度の2カ年にわたって、国立教育政策研究所の研究指定を受けており、その具体的な取組については、「大曲南中ESD」として保護者の皆様にもお知らせしています。一年目の研究の成果を、文部科学省や外部の方々からご指導いただく機会として、16日に中間公開研究会を行いました。

文部科学省からは、本校の研究を担当している 濱野清 教科調査官 をお迎えし、研究や授業についてのご指導とご講演をしていただきました。また、秋田県教育委員会や大仙市教育委員会からご来賓の皆様が、大仙市内の小・中学校から多数の先生方が参加してくださいました。

公開した授業は、2年生の国語と3年生の英語です。国語では、「意見交換会を通して、論の進め方に対する自分の考えを根拠を明らかにしてまとめる」学習が行われました。生徒達が自分の考えをしっかりと持って、「学び合い」ができていることを評価していただきました。また、英語の授業は、「英文を要約し、自分の考えを加えて伝える」学習が行われました。生徒の語学力、表現力、考える力等を評価していただきました。

公開授業研究会の中で、大曲南地区オープンスクールとして小・中交流授業も行いました。講師は、あきた地球環境会議の福岡真理子さんです。「あなたが地球と地域を守る日」 in 大曲南エリアというテーマで、リオ地球環境サミットで伝説のスピーチをしたセヴァン・カリス＝スズキさんを題材に、環境について小・中合同のグループで考え、意見交換しました。オープンスクールの積み重ねが、子どもたちの確かな力になっていると感じる時間になりました。保護者の皆様にもご参観いただきありがとうございました。

この中間公開研究会を一つの節目とし、生徒達の更なるよい姿を求めて、研究を深めていきたいと考えています。

秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所の須田喬所長から、次のような評価をいただきましたのでご紹介します。

- ① 生徒がのびのび発言できている。
体験活動だけでなく、授業でも心を育てている。何でも話ができる雰囲気がある。
- ② 共通実践事項が徹底されている。
教師の意識の高さと積み重ねが成果につながっている。
- ③ 生徒達の語彙力が素晴らしい。
充実した読書に裏付けされたものである。
- ④ 書く力が身に付いている。
書かせる指導が徹底されており、表現力につながっている。

